

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	4745	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3031	3	担当部課名	都市建設部 交通・総務課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり
第1期実施計画の事業名	バス利用促進総合対策事業
財務会計上の事業名	バス利用促進対策事業
事業の対象【誰(何)を】	バス事業者(阪急バス)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市内路線運行バスについて、低公害ノンステップバスの導入促進のため、補助を行う。
事業の目的【どのような結果を得るか】	公共交通機関のバリアフリー化を行い、高齢者や障がい者の方々のバス利用による社会参加の促進と、バス交通の需要の喚起による環境負荷の低減を図ることができる
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		0	0	0	0	802	-	
人件費(人・千円)		0.13	1,040	0.11	880	0.06	468	0.06	468	54.5%
内訳	正職員	0.13	1,040	0.11	880	0.06	468	0.06	468	54.5%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0	0	0	0	0		0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0		0	-
	アルバイト		0	0	0	0	0		0	-
支出合計 A			1,040	880	468	1,270	53.2%			
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,040	880	468	1,270	53.2%			
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	助成保有台数(累計)	台	9	9	9	10	10
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	「移動等円滑化の促進に関する基本方針」の改正により、ノンステップバスの目標導入台数が変化したため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	補助事業のため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見直し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
ノンステップバス導入に対して継続的な補助を行い、バリアフリー化の推進を図る。	大阪府からの補助が廃止になり、バス導入にあたって事業者自らが負担することとなるため、バリアフリー化が遅れる可能性がある。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()	財務会計上の短縮番号 5325
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3031	4	担当部課名	都市建設部 交通・総務課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり			
第1期実施計画の事業名	市営駐車場管理事業			
財務会計上の事業名	市営駐車場管理事業			
事業の対象【誰(何)を】	阪急池田駅の利用者、及び池田駅周辺の商業施設利用者等			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市営駐車場での車両の一時預かり・定期利用(月極め)・サービス券利用・夜間利用			
事業の目的【どのような結果を得るか】	池田駅周辺の違法駐車防止、道路交通円滑化に資する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)	
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成22年度		<input type="checkbox"/> 未実施	
※見直し内容を記入	駐車料金の引き下げ			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度		<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市立駐車場条例			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		21,719	21,336	29,466	27,352	138.1%		
人件費(人・千円)		0.26	2,080	0.36	2,088	0.08	582	0.08	582	22.2%
内 訳	正職員	0.26	2,080	0.18	1,440	0.07	546	0.07	546	38.9%
	再任用短時間勤務職員		0	0.18	648	0.01	36	0.01	36	5.6%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			23,799		23,424		30,048		27,934	128.3%
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源		13,626		13,150		12,969		14,030	98.6%
	一般財源		10,173		10,274		17,079		13,904	166.2%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	収支比率	%	62.7	61.6	44.0	51.3	70
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	利用台数	台	31,995	30,103	28,778	31,000	32,000
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	収支状況は厳しいが、環境にやさしい自動車や障がい者減免など環境・福祉施策の一環となっている。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	駐車場管理を(株)池田市再開発ビルに委託

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
平成24年度及び25年度については、消火設備の更新により収支状況の改善が見込めないため、26年度以降の収支改善を目指す。	駐車場の利用促進を図り、収支状況を改善する必要がある。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3031	5	担当部課名	都市建設部 交通・総務課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり
第1期実施計画の事業名	違法駐車等防止事業
財務会計上の事業名	違法駐車等防止事業
事業の対象【誰(何)を】	市民(歩行者・通行車両・周辺住民)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田・石橋駅周辺において、違法駐車等防止重点区域内の違法駐車車両に対し、①助言・啓発活動②駐車場への誘導案内③広報車による啓発活動④警告⑤警察署への取締り要請
事業の目的【どのような結果を得るか】	交通事故の誘発を防止し、交通の円滑化を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	・道路交通法 ・池田市違法駐車等の防止に関する条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)	0		0		0		0		-
	人件費(人・千円)	0.10	360	0.08	288	0.08	288	0.06	216	100.0%
内訳	正職員		0		0		0		0	-
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.08	288	0.08	288	0.06	216	100.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	360		288		288		216		100.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	360	288			288		216		100.0%
	受益者負担率 B÷A									-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	瞬間駐車台数(1日平均)	台	3.5	3.2	3.8	3.0	2.5
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	助言啓発指導台数	台	869	546	316	350	300
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 指導・啓発活動だけでは限界があり、取締りを行う警察との連携が必要
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 迷惑駐車防止啓発についてシルバー人材センターに委託

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
違法駐車台数自体は減少しているが、依然として駅周辺の違法駐車が多く、継続的な違法駐車対策が必要である。	民間駐車監視員制度の導入も視野に、違法駐車に対し実効性のある対策を行っていく必要がある。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	4780	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3031	6	担当部課名	都市建設部 交通・総務課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり
第1期実施計画の事業名	池田・石橋駅周辺放置自転車等対策事業
財務会計上の事業名	放置自転車等対策事業
事業の対象【誰(何)を】	自転車等(自転車・原動機付自転車)利用者
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田駅・石橋駅周辺において、指導員による放置自転車等の指導・啓発及び移動保管を行い、放置禁止区域内に放置しないように指導。また、移動保管した自転車を返還。
事業の目的【どのような結果を得るか】	交通事故誘発防止、交通の円滑化を図り、歩行者空間を保持する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	休日・休前日の放置自転車の移動保管及び整理の実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	・自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 ・池田市自転車等の安全利用の促進及び自転車等の駐車秩序の確立に関する条例

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区 分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		26,167	26,602	26,832	29,780	100.9%		
人件費(人・千円)		3.96	14,872	3.19	12,056	3.03	11,034	2.07	5,773	95.0%
内 訳	正職員	0.14	1,120	0.13	1,040	0.03	234	0.03	234	23.1%
	再任用短時間勤務職員	3.82	13,752	3.06	11,016	3.00	10,800	1.09	3,924	98.0%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.95	1,615	-
支出合計 A		41,039	38,658	37,866	35,553	98.0%				
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	5,074	4,076	3,416	5,454	83.8%				
	一般財源	35,965	34,582	34,450	30,099	99.6%				
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区 分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	移動保管の強化	台	3,203	2,798	2,325	2,500	2,500
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	放置台数の削減(瞬間駐車)	台	380	320	280	260	250
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	平成25年度より平日の放置自転車移動保管をシルバー人材センターに委託。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	放置防止指導啓発、休日の移動保管、夜間の自転車整理等を委託済。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
瞬間放置台数は減少傾向にあり、今後も交通事故誘発防止、交通の円滑化を図り、歩行者空間の保持に努める必要がある。	放置自転車台数自体は減少しているが、駅周辺路地や買い物客の瞬間放置への対応を検討する必要がある。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	4748
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3033	1	担当部課名	都市建設部 交通・総務課
			担当課長名	小林 勝明

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり			
第1期実施計画の事業名	交通安全協会補助事業			
財務会計上の事業名	交通安全協会補助事業			
事業の対象【誰(何)を】	池田交通安全協会			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	交通安全協会が実施する交通安全対策事業に補助を行う。			
事業の目的【どのような結果を得るか】	市民の交通ルールに対する自覚を促すとともに、交通事故の抑制と交通社会に対応した交通安全意識の高揚を図り、市全体の交通安全事業を推進する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度~平成 年度)			
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入	補助金額の段階的な引き下げ			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	交通安全対策基本法			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)	100		100		100		100	
人件費(人・千円)	0.10 800		0.05 356		0.04 270		0.04 270		80.0%	
内訳	正職員	0.10 800		0.04 320		0.03 234		0.03 234		75.0%
	再任用短時間勤務職員	0		0.01 36		0.01 36		0.01 36		100.0%
	任期付短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
	アルバイト	0		0		0		0		-
支出合計 A		900		456		370		370		81.1%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	900		456		370		370		81.1%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	交通事故件数	件	586	567	545		500
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	交通安全教室の開催	回	88	74	103	90	100
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 交通安全対策に関し積極的に事業を推進しようとする団体に対して、補助金を交付し、効果的かつ総合的な交通安全の推進を図る。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 補助事業のため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策 交通事故件数、死者数の減少を目指し、引き続き市全体の交通安全啓発を推進する必要がある。	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」 啓発事業の性質上、短期的な費用対効果が現れにくい。
---	---

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	4747
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	3033	2	担当部課名	都市建設部 交通・総務課	
				担当課長名	小林 勝明

1 事務事業の概要

施策名	安心して快適に移動できるまちづくり				
第1期実施計画の事業名	交通安全啓発事業				
財務会計上の事業名	交通安全啓発事業				
事業の対象【誰(何)を】	一般市民(保育園児・幼稚園児・小学校児童・高齢者・運転免許証所持者等)				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	春・秋の全国交通安全運動。運転者講習会や街頭での啓発キャンペーン等の実施。保育所、幼稚園、小学校や高齢者に対する交通安全教室の実施。				
事業の目的【どのような結果を得るか】	交通事故件数の減少(市民一人ひとりが交通ルールを自覚し、交通事故の抑制と、複雑多様化する交通社会に対応した交通安全意識の高揚を図る。)				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成22年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	交通安全教育業務委託料の引き下げ				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入	道路交通法 交通安全対策基本法				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		4,726	4,903	4,886	5,184	99.7%		
人件費(人・千円)		1.33	10,464	1.50	9,184	1.52	6,014	1.52	5,957	101.3%
内訳	正職員	1.29	10,320	0.86	6,880	0.31	2,418	0.31	2,418	36.0%
	再任用短時間勤務職員	0.04	144	0.64	2,304	0.81	2,916	0.78	2,808	126.6%
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0	0.40	680	0.43	731	-
支出合計 A			15,190		14,087		10,900		11,141	77.4%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		15,190		14,087		10,900		11,141	77.4%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内交通事故件数	件	586	567	545		500
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	池田市内交通事故死者数	人	3	1	1		0
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	交通安全教育参加者数	人	9,743	11,134	12,429	11,000	12,000
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	さらなる交通ルールの遵守とマナーアップが必要。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	交通安全教育業務について交通安全協会に委託。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
交通事故件数については年々減少しており、啓発活動が着実な効果を上げていると思われる。	交通事故防止の啓発活動は市の責務であり、幅広い層から交通安全教育の要請を受けている。今後は中高生の自転車マナーアップ等にも取り組んでいく必要がある。